

～信長の命運を分けた! 10日間の物語～

織田信長の朝倉攻め

びわ湖
高島戦国旅



織田信長、最大の危機である金ヶ崎の退き口。物語の舞台は、対立関係にあった朝倉氏攻略戦で、1570年4月20日から4月30日、この僅か10日の間に信長の命運をわける劇的な展開が繰り広げられます。

時は、元亀元年(1570)4月20日、信長は対立関係にあった越前の朝倉氏を攻略するため、京都を出発します。3万人の軍勢を率いて、21日に田中の城(高島市)に宿泊し、22日には熊川(若狭町)の松宮玄蕃の屋敷に泊まります。翌23日には佐柿(美浜町)の栗屋越中の城に逗留し、朝倉氏の前線基地である敦賀への進軍の準備を整え、4月25日には敦賀に出陣し天筒山城を落とし、翌26日には金ヶ崎城を攻略します。いよいよ朝倉氏の本拠地に向けて軍を進めようとする中、信長の妹婿である浅井長政が離反したため、信長は撤退を決意します。

『長谷川家先祖書』によると、信長は28日に今津町保坂に到着し、進路を南にとり朽木街道を進みます。この時、朽木の領主であった朽木元綱は信長を迎え入れ、朽木市場の下市にあった圓滿堂で接待します。接待役は、長谷川惣兵衛茂元で、お茶とお菓子をさしあげ、そのお礼に信長より、鹿革製のたちつけ(袴)と銀製の箸をいただいたとされています。朽木で休息をとった信長は、翌29日に葛川を通して無事に京都に到着しました。この出来事は「信長の朽木越え」とも呼ばれています。

このたった10日間の間に起こった劇的で壮大な物語。『信長公記』と『長谷川家先祖書』から、この物語の足跡を辿ることで、信長の命運を分けた戦国舞台を体感する旅に出かけてみませんか。



モデルコースのWeb版
周辺スポット詳細

モデルコース

《所要目安》

1泊2日

(車移動&徒歩)



1日目 ① 田中城跡 【山城歩き】所要:約90分/往復距離:約2km

↓ 約40分

② 熊川城跡 【山城歩き】所要:約40分/往復距離:約1km

↓ 約30分

③ 佐柿国吉城跡

↓ 約20分

【山城歩き】所要:約40分/往復距離:約2km

若狭国吉城歴史資料館の入館料 100円

④ 金ヶ崎城跡・金崎宮

↓

【山城歩き】所要:約30分/往復距離:約1km

⑤ 天筒山城跡 【山城歩き】所要:約60分/往復距離:約2km

↓ 移動

高島市で宿泊

⑥ 保坂の道標

↓ 約10分

⑦ 市場の街並み

↓ 約3分

⑧ 道の駅くつき新本陣



高島市内の
宿泊施設情報は
こちら

1 田中城跡

滋賀県高島市安曇川町田中

佐々木田中氏の居城とされています。標高約221mの主郭からは、安曇川や鴨川によって形成された平野や琵琶湖を一望することができます。元亀元年(1570)、越前朝倉攻めに向かった織田信長が宿泊したとされています。諸説ありますが、『米田文書』には、永禄9年(1566)に若かりし頃の明智光秀が籠城していたとあり、明智光秀と深い関係があったことがうかがえます。



2 熊川城跡

福井県三方上中郡若狭町熊川

近江国と若狭国の国境に近く、九里半街道(若狭街道・鯖街道)を眼下に見渡せる標高約185mの好所に位置しています。沼田氏によって、築かれたと考えられています。熊川城主である沼田光兼の娘の麿香は、細川藤孝に嫁いでおり、細川氏と強いつながりをもっていました。



3 佐柿国吉城跡

福井県三方郡美浜町

若狭国と越前国の国境を守る山城で、標高約200mに位置し、若狭国守護大名武田氏の重臣である粟屋越中守勝久が、弘治2年(1556)に古城を利用して築いたとされています。永禄6年(1563)から朝倉氏が滅亡する天正元年(1573)まで、ほぼ毎年、侵攻してくる朝倉勢を撃退し、一度も落城しなかった不落の城として伝えられています。



4 金ヶ崎城跡・金崎宮

福井県敦賀市金ヶ崎町

金ヶ崎城は、標高約90mの天筒山から北西に延びる尾根上に築かれました。朝倉氏の前線基地と考えられています。織田信長は、4月25日に天筒山城を陥落させ、翌26日には金ヶ崎城を陥落させています。



5 天筒山城跡

福井県敦賀市泉

天筒山城は、金ヶ崎城の南に位置する天筒山に築かれた山城で、金ヶ崎城の支城として重要な役割を果たしていました。標高は、約170mで、敦賀湾や旧北陸道、金ヶ崎城を見渡すことができます。



6 保坂の道標

滋賀県高島市今津町保坂

金ヶ崎の退き口において、織田信長が退却時に通ったと考えられる「若狭街道」の分岐点。織田信長は、ここで、進路を右にとり朽木を目指し最大の危機を乗り切りました。当該地には、安永4年(1775)に建立された道標があります。



7 市場の街並み

滋賀県高島市朽木市場

朽木の旧街道沿いにある圓満堂跡は、朽木元綱が朽木越えて撤退する織田信長を接待した場所で、織田信長は当地で休息します。その際、接待役であった長谷川惣兵衛茂元が、信長から鹿革製のたちつけ(袴)と銀製の箸を賜ったことが『長谷川家先祖書』に記されています。



8 道の駅くつき新本陣

滋賀県高島市朽木市場

領主・朽木氏の陣屋を現代風に復元し、朽木の数々の産品が揃う道の駅。名物の鯖寿司などを旅のおともどうぞ。日曜日は朝市開催。

高島市朽木市場777

TEL:0740-38-2398 定休・火曜



交通のご案内

〈お車の場合〉

◎名神高速道路『京都東IC』より約50分

◎北陸自動車道『木之本IC』より約60分

◎舞鶴若狭自動車道『小浜IC』より約50分

※JR安曇川駅を基準点としています



お問合せ

(公社)びわ湖高島観光協会 (観光・宿泊など、全般)

高島市新旭町旭1-10-1 TEL:0740-33-7101 定休:日曜

発行日/2026.3